

# 給食だより 5月号

平成31年4月26日 認定こども園 一関南保育園

新年度がスタートし、新入園児も継続児も、園生活に慣れてきて、給食を残さず食べられるようになってきました。

「先生給食おいしい」と子供達の方から声をかけてくれて、とても励みになっています。

また、食べている様子を見に行くと、スプーンやフォーク、箸を上手に持てない子が目立ちます。鉛筆握りが出来るよう、周りの大人が手本を見せながら、根気よくくり返し伝えていくようにしましょう。そうすることで少しずつ上手にできるようになっていきます。



上手持ち



下手持ち



鉛筆持ち

おやゆび、ひとさしゆび、なかゆびで  
上のはしをもつ



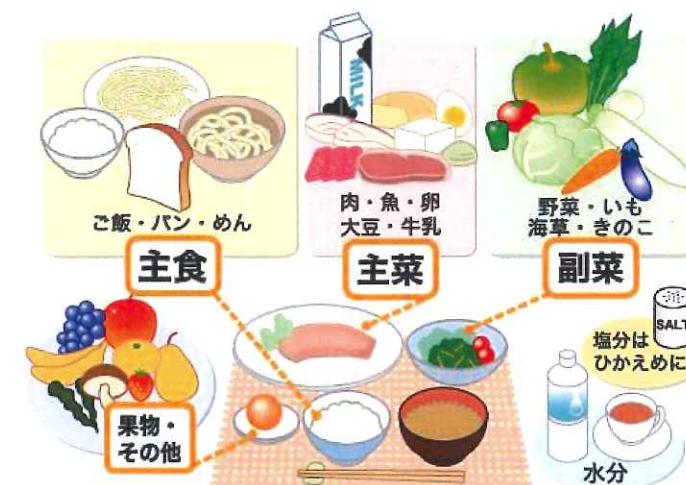
おやゆびのねもとで下のはしをはさみ、  
くすりゆび、こゆびでささえる



上のはしだけを  
うごかす

## <配ぜんは毎日のお手伝いで自然に身につきます>

和食の配ぜんでは、ご飯が左、汁物が右で、おかずは奥に、箸は手前に置きます。ご飯と味噌汁が反対だったりする子も見られます。子どもたちは、家族の箸を置く、料理を並べるなどのお手伝いすることで、自然に配ぜんを覚えていきます。ぜひ親子で改めて確認してみましょう。



## <日頃から食の話題を>

家族と食事をしている時や、買い物や調理の時など、いろいろな場面で「食」を話題にしてみてください。食材や旬のこと、料理のことなどを話すことが、子どもの食に対する興味・関心を育てていくことにつながります。

